

【平成 29 年度上半期 定例分】

市民と市長と気楽にトークでの意見交換についてご紹介します。

市民の方から	市長から
太陽光発電の設備を最近よく見かけますが、売電単価も下がっており、いずれ管理できなくなるのではないかと、また、山を切り開いて設置しているので山の保水機能が低下しているのではないかと心配しています。	災害を引き起こさないための対策は必要ですが、民間事業者が国の認可を受けて実施する事業なので、国全体で考えていく必要があります。 山の保水機能については、太陽光発電の規模が大きいものは山林開発となり、その手続の中で、雨水対策の条件なども付けられています。
本庁舎はいつ建て替えますか？津波などが心配です。	本庁舎はまだ耐用年数があり、当分使用しますが、長寿命化も図っていきます。
人口減少が進む中、ひずみや課題は表面化していますか？そのことによりどんなニーズが生じているか市が把握できるような仕組みを作るべきだと思います。	人口問題、交通弱者、空き家、学校統合等の問題について、地域自らでとらえて検討していく機運を育てていきたいと考えています。いくつかの地域においては夢プラン策定という形で取り組んでもらっています。
岩国基地の再編の判断について、柳井市はその枠組みに入っていますか？	市は枠組みに入っていませんが、騒音測定器の設置など騒音対策を中心に国に要望をしています。
災害が発生しそうなときにどこに逃げればよいでしょうか。	市では災害種別ごとに指定緊急避難場所を指定しています。指定緊急避難場所に限らず、ご家庭や地域において災害種別に応じた安全な場所を考えていただきたいと思います。
やない美ゆーロードでスピードを出す車が多いように感じます。交通規制をすることはできないでしょうか。	看板のほか、スピードダウンを促すのぼり旗を設置しています。今後とも警察と協議しながら対応していきたいと考えています。
JR の広島への直通の便がないので要望してほしいです。	要望はしていますが、JR としては乗客数を考慮すると同時に、徳山経由での新幹線利用者に重点を置いているとのことでした。
柳井に来られる観光客がリピーターになってくれるような働きかけが足りないように思います。	観光に携わっている方々を中心に何とかしたいという中で、白壁通り、柳井川沿い、麗都路通りに出店される際に費用を負担する制度を設けていますが、こうしたらどうかというような皆様のアイデアがあればお聞かせください。
新明和用地の活用についてどのように考えられていますか？企業を誘致しても将来撤退するようではいけないと思います。	将来の撤退について企業を見極めて誘致することは難しいです。この地域は、工業専用地域であることから製造業を誘致することになりますが、商工会議所等と連携し解決していきたいと考えています。
危機管理室に警察、自衛隊等の退職者を危機管理官として設置したらどうでしょうか。	消防や防災に携わった人を採用しているところもあります。今後の判断に役立てたいと思います。

市民の方から	市長から
市のイベントが少ないと思います。例えば食べ物のイベントなどは各地で人気です。	地方自治体の中では多くのイベントにより疲弊してしまう所もあります。柳井市は小さいイベントも含めれば色々なイベントがあり、周辺に目を向けても多くのイベントがあります。今あるイベントを活性化させていくことが大切だと考えています。
柳井港の駐車スペースが少ないのですが、増やすことはできませんか？	県も市も駐車スペースが少ないことは認識しています。今後しっかりと協議していきたいと考えています。
平郡の企業用地の再利用について検討していただくことはできますか？	地域の夢プランの中で計画していただくことが一番だと思います。全市的に夢プランを作成する流れがありますので、平郡西地区でも進めていただきたいと思います。
9月から観光キャンペーンの取り組みがスタートするとのことですが、どのようなものでしょうか？	JRのディスティネーションキャンペーンのことで9月から12月まで行われ、期間中は白壁の町並みの夜間点灯などに取り組みます。キャンペーンとは別ですが、翌年1月にはにっぽん丸が柳井港へ来航し、300～350名の方が柳井を観光されます。
明治150年に合せて阿月の克己堂をPRすることが大事だと思います。	克己堂についてアイデアがあれば、地域の夢プランでぜひ検討していただきたいと思います。
フラワーランドの収支はどうなっているのでしょうか？	おおまかに、維持管理費2億円、収入は入園料と物販で4千万円、残り65%を県が、35%を市が補填しています。数字上は赤字ではありませんが、入園料だけでは賅っていません。
子育て支援について、医療費を無料にする自治体が多いですが、お金をタダにするという施策はしすぎないでほしいです。	医療費を無料にする原資は皆さんの税金で賅われています。医療費補助については所得制限を設けています。優先される事業とのバランスを考えながら取り組んでまいります。
高齢者のために、自家用車に代わる交通手段を考えていただけませんか？	日積では予約制乗り合いタクシーを導入し運用されています。日積ではこの方法ですが、地域ごとにどういう仕組みが良いのか、地域の夢プランで地域の課題、取り組みを考えていただくことが必要です。
出張所が中心になって夢プランの発信・受信をして、地域づくり推進課が核となって取りまとめをして欲しいです。	夢プランの主体は地元の人です。行政ではなく、コミュニティが自らどう動いていくか、何のために誰がやるのかを念頭に置くことが大切です。順序を間違えると良いプランはできないと考えています。
柳井市は人口が減っており、企業もなく、良いところがありません。収入を増やす施策をしてはいかがでしょうか？	柳井市は本当に何もありません。そんなことはありません。柳井市には何があるか、どんな良いところがあるか、そこから考え、地域の夢プランに取り組んで欲しいと思います。

市民の方から	市長から
空き家や空き地に木や竹が繁茂し、所有者の連絡先もわからず、対応に苦慮しています。	危険廃屋等は近隣に迷惑が掛かります。都市計画・建築課へご相談ください。
これから人口が減少するのだから1市4町で合併したらどうでしょうか？	合併については一方の思いだけではできません。今合併するメリットはあまりないと考えています。ただ、広域をまたぐイベントなど、一緒に取り組んだほうが良いことは協力して行っています。
移住者が増えてきたというお話ですがどんな方がいらっしゃいますか？PRも必要だと思います。	市の空き家バンク制度を利用した移住者は1/3が県内、1/3が広島県、1/3が全国からで若い人も年配の人もいます。農業がしたい、漁業がしたい、店を開きたいとか目的意識をもって移住されています。移住者が増えることは空き家バンクの戸数が減ることにもなりますので、もっとPRしなければなりません。
岩国基地の騒音問題で柳井市は補償を受けていませんが、将来的にどのように考えていますか？	騒音の補償は基準があり、全国一律です。市は基準が高いことを主張しており、また、61機の艦載機が移転してきたときの騒音を把握したいので、測定器を日積に設置し、観測してほしいと要望しています。
原子力発電所から出る核のごみの最終処分について、まったく目途が立っていません。上関町に原子力発電所を作ってほしくないですが、市長はどのように考えていますか？	原子力発電所の問題は、国の責任において決定すべき事柄です。今後とも国の動きを注視していきます。
旧給食センター内に、民俗資料が長年放置されたままになっていますが、展示の予定はありますか？	民俗資料は、しらかべ学遊館にも展示していますが、ご指摘のとおり旧給食センター内に多くの民俗資料があります。展示場所については経費との兼ね合いもあり、今後の検討課題としています。
風雨が強いと防災無線が聞こえません。戸別の受信機を設置したいのですが。	防災無線は設置したのちも維持管理が必要となります。音声放送が聞き取れなかったときは「防災行政無線電話対応サービス」、電話番号0820-23-6400をご利用ください。また、市は携帯電話への緊急速報メールを一斉配信していますので、それにご登録ください。
南岩国から岩国駅までの国道がひどく渋滞しているので道路の拡張は必要と思いますが、藤生から通津、柳井までは台数が少ないので道路整備しなくていいのではないのでしょうか。道路整備についてどのようにお考えですか？	岩国南バイパスの南伸については、通勤や空港利用、岩国医療センター利用の利便性向上の点から大変重要なものと考えています。また、柳井平生バイパスについてはさらに重要なものと考えております。柳井平生バイパスを通すことで周東総合病院前の混雑が解消されるとともに通学する柳井商工高校の生徒たちの安全が確保されます。
ウェルネスパークとフラワーランドは県内でも優秀な施設だと思います。もっと両施設が連携できないでしょうか。	これまでも両施設が連携して取り組んでいるものもありますが、今後、例えばスポーツ合宿に来られた学生がフラワーランドにきてもらえるようなアイデアを施設の管理者と協議していきたいと考えています。